

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
220332039	臨床医学実習 Clinical medicine training	岸上明生		専門	1	選択	3後期
科目の概要							
ディプロマポリシー1, 2, 3に記載する建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を修得し、専門的知識・技能を身につけて、自己研鑽と社会貢献できる管理栄養士の育成を目指します。そのため、この科目では、多くの種類がある臨床検査について、その臨床的意義、基準範囲などを理解し、疾患との関連性について学修します。							
学修内容				到達目標			
① 各種臨床検査の概要を学ぶ。 ② スクリーニング検査の概要を学ぶ。 ③ 臨床検査項目の基準値・臨床的意義を学ぶ。 ④ 臨床検査値から疾患を診断することを学ぶ。				① 臨床検査の分類を理解して、疾患と関連付けることができる。 ② スクリーニング検査を理解して、異常値を見つけることができる。 ③ 臨床検査の基準値・臨床的意義を理解して、疾患の判別をすることができる。 ④ 臨床検査値から疾患名を推察することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	配布資料にて予習を行い、指示される事無く実習を実施することができる。					
	働きかけ力	グループの人に実習の分担を依頼することができる。					
	実行力	膨大な臨床検査基準値を記憶することができる。					
考え抜く力	課題発見力	検査結果から診断名を推察できる。					
	計画力	配布資料をもとに、事前に予習をすることができる。					
	創造力	臨床検査の基準値を記憶する独自の方法を見つけることができる。					
チームで働く力	発信力	検査結果と診断について、グループないでディスカッションすることができる。					
	傾聴力	実験内容についての講義・注意事項を正確に理解して、知識の蓄積ができる。					
	柔軟性	検査結果から、色々な疾患を考えることができる。					
	状況把握力	今、何をすべきか、しなければならないかを判断することができる。					
	規律性	欠席・遅刻することなく実習を実施することができる。 実習レポートを提出期限までに提出することができる。					
	ストレスコントロール力	多くの検査基準値、疾患を知識として獲得できる。					
テキスト及び参考文献							
実習内容について、事前にプリントの資料を配付する。 参考書として医学書院 臨床検査 奈良信雄							
他科目との関連、資格との関連							
「臨床医学実習」は「管理栄養士」に必須の専門分野の専門基礎科目であり、「生化学Ⅰ、Ⅱ」「生化学実験」「解剖生理学Ⅰ、Ⅱ」「解剖生理学実習Ⅰ、Ⅱ」「臨床医学Ⅰ、Ⅱ」の知識を活用して、卒業研究や管理栄養士の基盤となる科目である。							
学修上の助言				受講生とのルール			
臨床検査の基準範囲は、非常に多く、しかも正確に知識を獲得する必要があります。そのため、確実な判断方法を身に付けましょう。 グループで議論する機会には、問題解決の目的を意識したチームワークを学んでください。 実習課題と小テストの実施の詳細は、最初の授業で資料を配付します。 疾患名も多いので、日常生活内で見たものを書き留めて調べることをお勧めします。				グループ単位での実施のため欠席・遅刻をしない。 必ず、配布資料をもとに予習・復習を行う。 スクリーニング検査項目の基準値は必ず記憶する。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント						
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①							
				②							
				③							
				④							
	平常評価	小テスト		40	①	✓					臨床検査の分類ができ、スクリーニング検査項目の基準値を記述できる。 臨床検査項目の臨床的意義を正しく記述することができる。 臨床検査値や臨床症状から、疾患を正しく導き出すとすることができる。 診断基準に関する臨床検査項目・値を記述できる。 最新の臨床検査、NSTを記述することができる。
					②	✓					
					③	✓					
					④						
		レポート		50	①	✓					検査原理について正しい記述ができています。 検査結果の判断を適切に記述できています。 文献引用した考察を記述できています。
					②	✓					
③					✓						
④					✓						
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①							
				②							
	③										
	④										
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓					指示がなくても実習の予習、復習をすることができる。（主体性） グループで協力して実習を進めることができる。（実行力） 実習結果から正しく考察することができる。（課題発見力） 自分独自のレポートを作成することができる。（創造力） 不明瞭な点を進んで教員や他の人に質問することができる、グループ内で実習について、積極的なディスカッションをすることができる。（発信力） 実習・講義の注意事項、検査値や疾患の特徴を正しく理解できる（傾聴力） 欠席、遅刻、私語することなく、実習を行うことができ、提出期限までにレポートを完成させて提出できる。（規律性）	
				②	✓						
				③	✓						
				④	✓						
総合評価割合			100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
臨床検査の分類ができ、スクリーニング項目の基準値は全て記述できる。臨床検査の基準値・臨床的意義記憶して臨床検査値から疾患名を個人で推察できる。これらを活用して課題解決ができる問題が出題される提出課題、小テスト、社会人基礎力を総合的に評価して、90点以上をS(秀)とする。80～89点をA(優)とする。	スクリーニング項目の基準値は全て記述できる。臨床検査の基準値・臨床的意義記憶して臨床検査値から疾患名を個人で推察できる。これらを活用して課題解決ができる問題が出題される提出課題、小テスト、社会人基礎力を総合的に評価して、70～79点をB(良)とする。60～69点を(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	臨床検査とは？ 一般的なスクリーニング検査について 尿定性検査定性 末梢血血球計算 生化学検査 (それぞれの項目・基準値)	実験・実習・発表 事前PCRシートの配布を行う グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供	スクリーニング検査の項目と基準値が記述できる。	予習：臨床検査の分類を行う。 復習：スクリーニング検査の項目と基準値をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	血液検査について 恒数の求め方および恒数による貧血の分類 3種類の血球が増加、減少する疾患	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	末梢血血液検査の基準値が記述できる。	予習：末梢血血液検査の確認 復習：末梢血血液検査の基準値の記憶	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	血液凝固検査について プロトロンビン時間測定 凝固と抗凝固を確認する 血液凝固のメカニズム 抗凝固剤の作用機序 線維素溶解現象	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	血液凝固検査項目と血液凝固の機序が記述できる。	予習：血液凝固の機序を確認 復習：レポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	肝機能検査について ASTとALTのバランスによる疾患の分類 アルブミンと血液凝固検査の変動	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	肝機能検査項目と基準値を記述できる。	予習：肝機能検査項目の確認 復習：肝機能検査項目の基準値を記憶	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	肝機能検査と疾患について 肝疾患で変動を示す、酵素項目の臨床的意義 肝炎の検査による分類	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	肝機能検査項目の異常値から疾患を導き出すことができる。	予習：肝機能検査の臨床的意義の確認 復習：レポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	腎機能検査について 尿検査実施 腎臓での尿生成のメカニズムの確認 BUNとクレアチニンの臨床的意義	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	腎機能検査項目と基準値を記述できる。	予習：腎機能検査項目の確認 復習：腎機能検査項目の基準値を記憶	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	腎機能検査と疾患について eGFRの算出 慢性・急性糸球体腎炎 慢性・急性腎不全 ネフローゼ症候群 それぞれの検査値変動の特徴	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	腎機能検査項目の異常値から疾患を導き出すことができる。	予習：腎機能検査項目の臨床的意義の確認 復習：レポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	血液透析について 血液透析 (HD) と腹膜透析 (CAPD) の比較、原理・メリット・デメリット	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グーグル・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	人工透析の種類と原理が記述できる。	予習：人工透析の種類の確認 復習：レポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	心臓及びその機能検査について 心筋、心機能血液検査項目 血液循環の確認 心電図、心エコー検査	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グループ・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	心電図の波形の意義、心臓の弁、血管の種類を記述できる。	予習：心臓に関する構造と機能の確認 復習：レポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	心臓疾患で変動する検査項目について 心筋梗塞と狭心症における血液検査・心電図の比較 心不全で変動する検査項目	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グループ・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	心臓に関する検査項目の異常値から疾患を導き出すことができる。	予習：心臓に関する検査項目の臨床的意義の確認 復習：レポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	腫瘍マーカーについて 肝臓、消化器、前立腺、肺、子宮・卵巣、横紋筋の腫瘍マーカーおよびカットオフ値	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グループ・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	臓器別の腫瘍マーカーを記述できる。	予習：腫瘍マーカーの種類の確認 復習：レポート作成	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	症例検討1 貧血・血液疾患および悪性腫瘍についての症例検討	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グループ・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	種々の検査結果から疾患を導き出すことができる。	予習：種々の検査項目の基準値の再確認 復習：症例検討内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	症例検討2 肝臓疾患、腎臓疾患、代謝異常症についての症例検討	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グループ・クラスルームを活用した質問、資料提供 次回のPCRシートの配布	種々の検査結果から疾患を導き出すことができる。	予習：種々の検査項目の基準値の再確認 復習：症例検討内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	PCR検査	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グループ・クラスルームを活用した質問、資料提供	PCR法の原理を説明できる	予習：種々の検査項目の基準値の再確認 復習：症例検討内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	抗体検査	実験・実習・発表 前回PCRシート回収 グループ・クラスルームを活用した質問、資料提供	抗原・抗体反応の測定原理を説明できる。	予習：種々の検査項目の基準値の再確認 復習：症例検討内容のまとめ	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力